

## 農産物直売所における野菜の購入と地産地消に関するアンケート集計結果

調査時期：平成20年10月

対象者：県政モニター（195人）

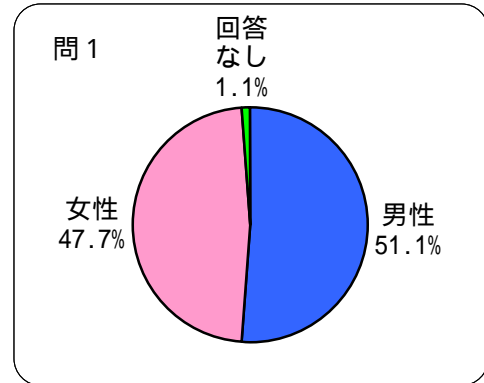
回答数：174人（回収率 89%）

担当課：農業経営課

調査目的：地産地消をすすめるにあたり、直売所における野菜などの流通をより活発にする必要があります。そこで、農産物直売所の利用に関する実態や意識をお聞きし、家庭の食卓や給食などに、より一層、県産農産物が使われるような流通のしくみづくりの検討に役立てるため今回のアンケートを実施しました。

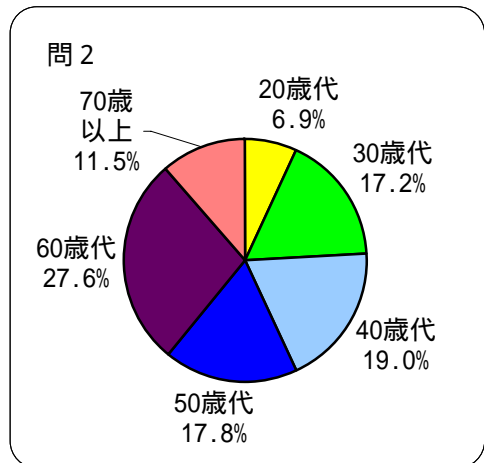
問1 あなたの性別を教えてください。

区分	人数(人)	割合(%)
男性	89	51.1
女性	83	47.7
無回答	2	1.1
計	174	100.0



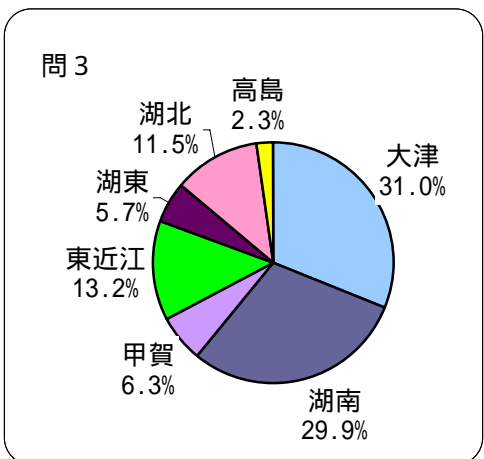
問2 あなたの年齢を教えてください。

区分	人数(人)	割合(%)
20歳代	12	6.9
30歳代	30	17.2
40歳代	33	19.0
50歳代	31	17.8
60歳代	48	27.6
70歳以上	20	11.5
計	174	100.0



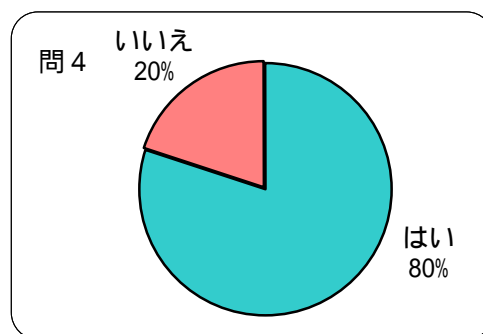
問3 あなたのお住まいの地域を教えてください。

区分	人数(人)	割合(%)
大津	54	31.0
湖南	52	29.9
甲賀	11	6.3
東近江	23	13.2
湖東	10	5.7
湖北	20	11.5
高島	4	2.3
計	174	100.0



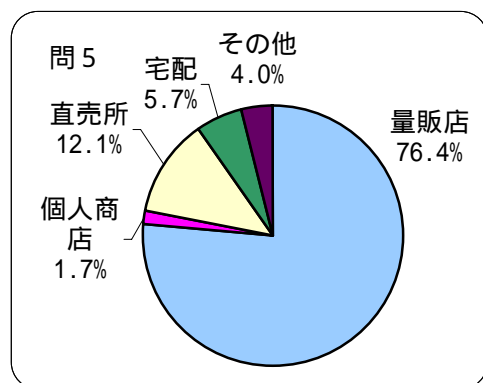
問4 あなたは、ご自身で野菜を購入されますか。

区分	人数(人)	割合(%)
はい	139	79.9
いいえ	35	20.1
計	174	100.0



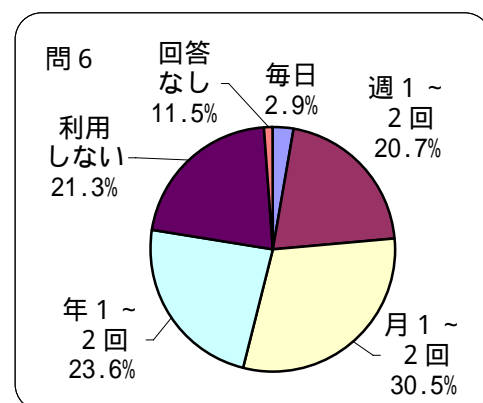
問5 あなたのご家庭では、主にどこで野菜を購入されますか。

区分	人数(人)	割合(%)
量販店	133	76.4
個人商店	3	1.7
直売所	21	12.1
宅配	10	5.7
その他	7	4.0
計	174	100.0



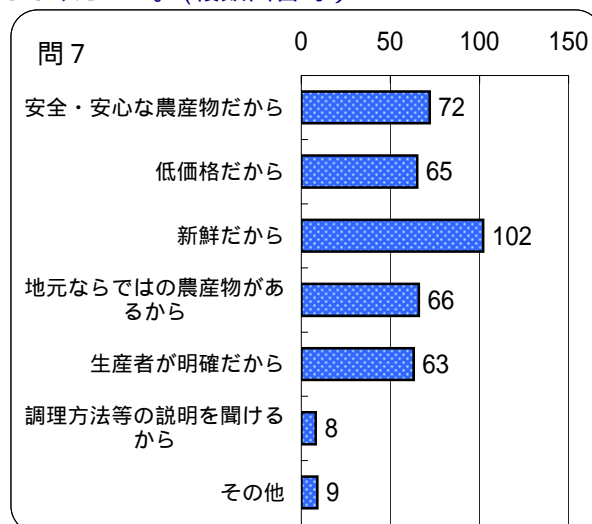
問6 あなたが農産物直売所で野菜を購入される頻度を教えてください。

区分	人数(人)	割合(%)
毎日	5	2.9
週1~2回	36	20.7
月1~2回	53	30.5
年1~2回	41	23.6
利用しない	37	21.3
無回答	2	1.1
計	174	100.0



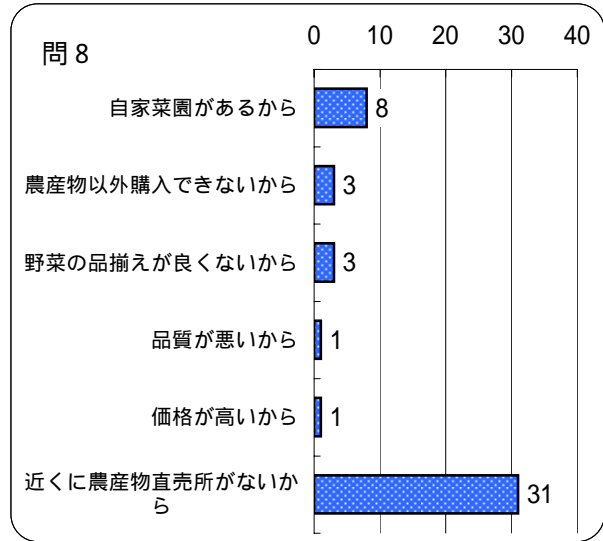
問7 問6で、「1~4」のいずれかに回答された方(135人)にお聞きします。あなたが、農産物直売所で野菜を購入される理由を教えてください。(複数回答可)

区分	人数(人)	割合(%)
安全・安心な農産物だから	72	53.3
低価格だから	65	48.1
新鮮だから	102	75.6
地元ならではの農産物があるから	66	48.9
生産者が明確だから	63	46.7
調理方法等の説明を聞けるから	8	5.9
その他	9	6.7



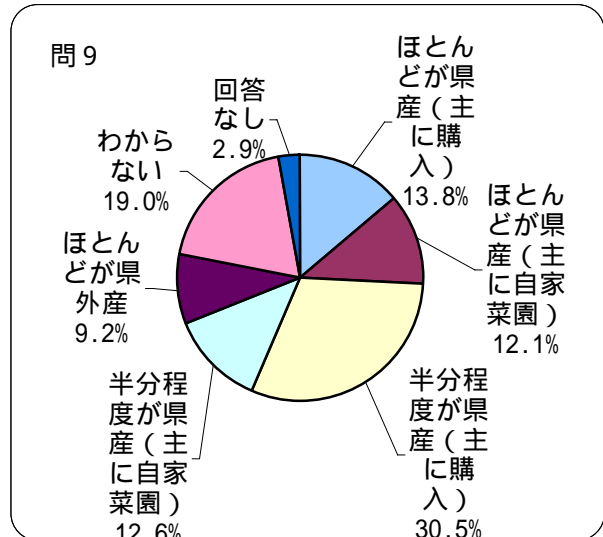
問8 問6で「5.利用しない」と回答された方(37人)にお聞きします。あなたが農産物直売所で野菜を購入しない理由を教えてください。(複数回答可)

区分	人数(人)	割合(%)
自家菜園があるから	8	21.6
農産物以外購入できないから	3	8.1
野菜の品揃えが良くないから	3	8.1
品質が悪いから	1	2.7
価格が高いから	1	2.7
近くに農産物直売所がないから	31	83.8



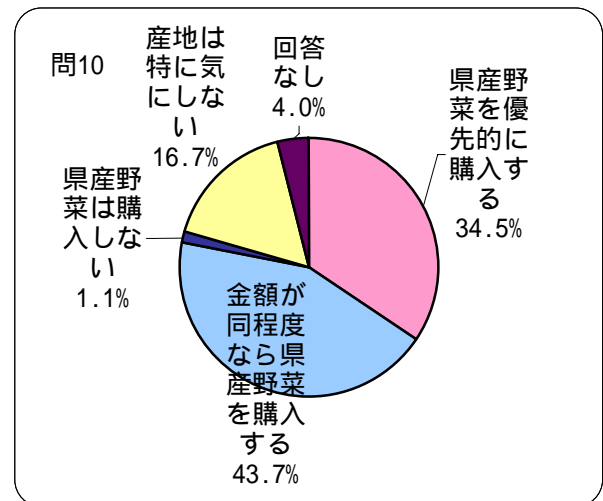
問9 あなたのご家庭では、日常の食事に県産野菜をどれくらい利用されていますか。

区分	人数(人)	割合(%)
ほとんどが県産(主に購入)	24	13.8
ほとんどが県産(主に自家菜園)	21	12.1
半分程度が県産(主に購入)	53	30.5
半分程度が県産(主に自家菜園)	22	12.6
ほとんどが県外産	16	9.2
わからない	33	19.0
無回答	5	2.9
計	174	100.0



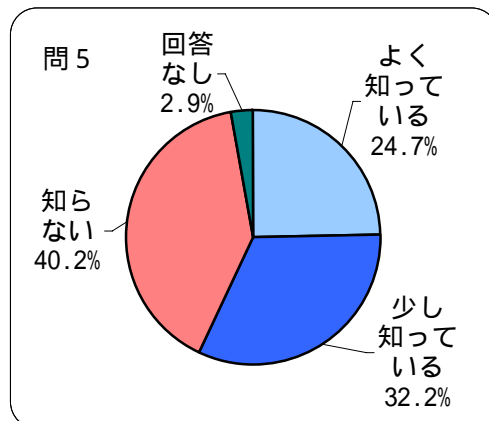
問10 あなたは、野菜売場に県外野菜と県産野菜の両方があった場合、県産野菜を購入されますか。

区分	人数(人)	割合(%)
県産野菜を優先的に購入する	60	34.5
金額が同程度なら県産野菜を購入する	76	43.7
県産野菜は購入しない	2	1.1
産地は特に気にしない	29	16.7
無回答	7	4.0
計	174	100.0



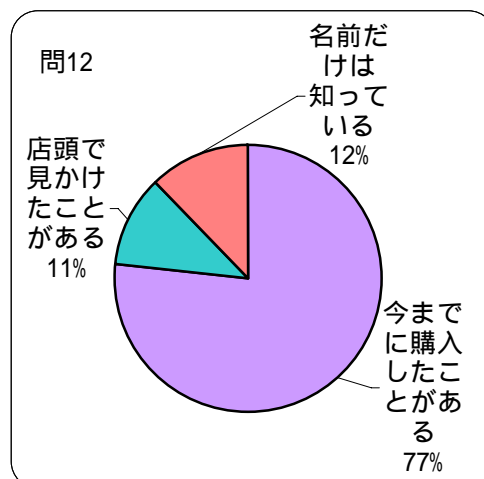
問11 あなたは、農薬と化学肥料の使用量を通常の5割以下に減らすとともに、琵琶湖をはじめとする環境に配慮した技術を用いて生産された農産物を「環境こだわり農産物」として県が認証しており、認証マークをつけた農産物が販売されていることを知っておられますか。

区分	人数(人)	割合(%)
よく知っている	43	24.7
少し知っている	56	32.2
知らない	70	40.2
無回答	5	2.9
計	174	100.0



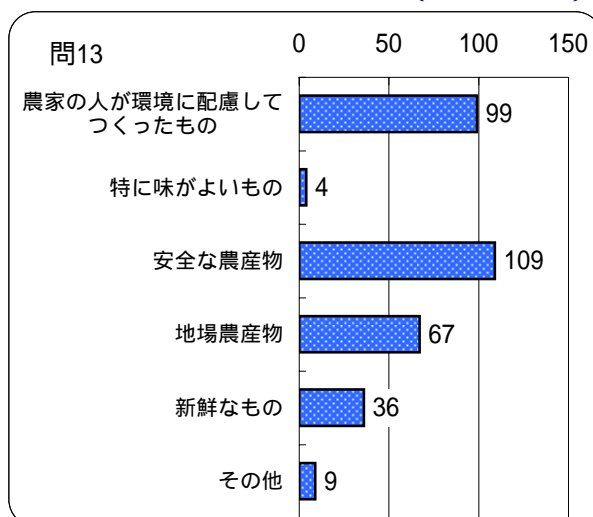
問12 問11で「1」または「2」と回答された方(99人)にお聞きます。あなたは「環境こだわり農産物」を購入されたことがありますか。

区分	人数(人)	割合(%)
今までに購入したことがある	76	76.8
購入したことはないが、店頭で見かけたことがある	11	11.1
購入したことはないが、名前だけは知っている	12	12.1
計	99	100.0



問13 あなたは「環境こだわり農産物」の認証マークから何をイメージされますか。(複数回答可)

区分	人数(人)	割合(%)
農家の人が環境に配慮してつくったもの	99	56.9
特に味がよいもの	4	2.3
安全な農産物	109	62.6
地場農産物	67	38.5
新鮮なもの	36	20.7
その他	9	5.2



## 農産物直売所や地産地消についてのご意見等（主なもの）

### <地産地消に関する意見>

- ・子供たちの将来の食生活を守るため、地産地消に私自身も協力してく。
- ・地元の食材を使う事は食の安心安全の点から考えて重要。食育という視点からも意義がある。
- ・安心安全と共においしく健康的であれば地元の食材に対する人々の意識はますます大きくなる。
- ・学校や福祉施設、病院等の給食にも地元産の野菜などをもっと取り入れて欲しい。
- ・中国産の食品のニュースを見るにつけてやはり地元産の農産物と思う。
- ・どこの生産地でも良いが、安全な、少し高くても本当に安心して食べられる物がほしい。
- ・店頭で地場産が少ないのが現状。生産者と消費者が手を携えて県の農業を盛り立てていく必要がある。
- ・地元で採れたものを地域で消費される事は、地域コミュニケーション上も大変好ましいこと。
- ・食べ物は本来、地産地消。大量のエネルギーを使って遠くから運んでいる現状がおかしい。

### <直売所に関する意見>

- ・各地に気軽に買い物できる直売所がたくさんできる事を望む。
- ・大規模な直売所を一つ二つ作るのではなく小さくてもよいのであちこちにある方がよい。
- ・もっと交通の便の良い（公共交通の便の良い）所があれば、利用者も増える。
- ・近所の無人販売が気に入っている。JA直売所も全部に個人名が入っているのが良い。
- ・滋賀県は道の駅をはじめ新鮮な野菜を販売する所が多く、価格も安く利用しやすい。
- ・土地の食べ物、無農薬野菜が多く、安く購入できてとてもありがたい。
- ・直売所は、新鮮かつ生産者も明確で地産地消に繋がり安心なのでどんどん推進すべき。
- ・スーパーより直売所の農産物は品質が悪く、価格も高いので直売所で買う気はしない。
- ・直売所は生産者と消費者を信頼という絆で結びつけてくれる大変よいシステム。
- ・新鮮なことを信じて購入しているが、いつ収穫されたか、いつ店頭にならんだかが分からない。
- ・近くの直売所に野菜を出荷している。これからも、安心安全な野菜を直売所へ持って行きたい。

### <直売所に対する要望・提案>

- ・朝一番に行かないとなくなってしまうので、昼からも補充してもらえたら嬉しい。
- ・品数が少ないので規模を大きくして多数の商品が購入できるようにして欲しい。
- ・流通コストが削減できるはずだから安く供給してほしい。
- ・形の悪いものや少し傷の付いた野菜も上手く利用して売ればよい。
- ・農家さんと消費者との交流会等があれば良い。
- ・耕作者写真入り大歓迎！生産上のご苦労や美味しくいただく為のヒント等も書き入れてほしい。
- ・商品の鮮度管理が充分でない。出荷の時間の調整をお願いしたい。

### <その他>

- ・スーパーでも県産農産物コーナーがあるとよい。
- ・スーパーに直売所があるとよい。野菜だけを買うに直売所へ行くのは少し面倒。
- ・県内のスーパー等では環境こだわり農産物を販売してもらおうようにPRすべき。
- ・環境こだわり農産物の認証は少しずつ定着しているものの、目を向けている消費者はまだ少ない。
- ・葉に穴が空いている等は当たり前なので自然な形で販売してほしい。